

第9回アフリカ開発会議における横浜市の取組について

国際・経済・港湾委員会資料
令和7年9月16日
国際局

(1) 開催概要

- 開催期間
2025年8月20日（水）から22日（金）まで
- 開催場所
パシフィコ横浜ほか
- アフリカからの参加国数
49か国

(2) 取組の方向性の柱

- TICAD9開催を通じた「選ばれる国際都市・横浜」の世界への発信
 - ・新たなグリーン社会に向けた横浜市の取組を発信
 - ・ビジネス機会の創出・拡大
 - ・国際協力の一層の推進
 - ・世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現
- 会議成功に向けたホストシティとしての貢献



1 TICAD9開催を通じた「選ばれる国際都市・横浜」の世界への発信



(1) 新たなグリーン社会に向けた横浜市の取組を発信

- 横浜市の気候変動の課題に対する対応や持続可能な都市づくりの知見、GREEN×EXPO 2027の開催についてGREEN×EXPO 協会と連携しながらPR
(主なPR)
 - ・外国人向けメディア
 - ・TICAD9会場内ブース出展
 - ・総理大臣・横浜市長共催歓迎レセプション
 - ・アフリカ22か国の代表団及び国連機関2機関の代表と山中市長との会談
- 国連事務総長との会談
 - ・グテーレス事務総長より、環境分野をはじめとする横浜の取組に言及いただき、「横浜は世界で最も国際的な都市の一つ」と評価



Japan Times 8月19日号



グテーレス国連事務総長との会談

(2) ビジネス機会の創出・拡大

- JETRO主催の企業展示会「Japan Fair」への横浜ブース出展
 - ・市内企業7社が都市・環境課題に資する製品やサービス等をPR
- ビジネスセミナー等の開催
 - ・TICAD9直前に開催したアフリカビジネスセミナーに加え、ケニア投資フォーラムを開催



Japan Fair 横浜ブース

(3) 国際協力の一層の推進

- 「アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）」第4回全体会合の開催
 - ・環境省、UN-Habitat、JICA等と共催
 - ・アフリカ各国の廃棄物管理の課題に関する発表・意見交換や横浜市の廃棄物管理の取組を発表し、アフリカにおける廃棄物管理への投資促進等を盛り込んだ「新・横浜行動指針」を採択



ACCP全体会合

(4) 世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現



ACCPにおける
子どもたちのプレゼンテーション

- 次世代の学びの成果発表
 - ・ACCP全体会合で市立みなとみらい本町小学校の5年生がSDGs学習の成果をプレゼンテーション。また、SDGsの活動を広めるために自作した校歌を披露。

➤ 会議等の運営での活躍

- ・横浜市内の学生等32名が会議参加者への案内や、Japan Fair 横浜ブースでの来場者対応などで活躍



市内大学生による
Japan Fair 横浜ブースでの活動

➤ 次世代による会議参加者の歓迎

- ・会議初日の開会式に合わせ、横浜の子どもたちがアフリカ各国の首脳等会議参加者をお出迎え



子どもたちによるお出迎え

2 会議成功に向けたホストシティとしての貢献



(1) 危機管理

- 全庁的な「警戒体制」(7/1～8/22) 及び関係区局による「警戒本部体制」(8/18～8/22) の確立
特に、医療体制(現地医療本部及び救護所)、消防特別警戒体制(警戒本部、地区本部、現地本部)を確保
- 神奈川県警察と連携したみなとみらい地区における交通総量の抑制
⇒ 安全安心な会議運営を支援

(2) おもてなし

- 総理大臣・市長共催歓迎レセプションでの、市長・副市長並びに
日本アフリカ友好横浜市会議員連盟等によるアフリカ各国代表及び来場者の歓迎
- アフリカ各国代表等へ市内企業の製品を記念品としてお渡し
- 会場周辺のフラッグ装飾、コスモクロックの特別演出等より歓迎



総理・市長共催歓迎レセプション

(3) 「アフリカ月間2025」キャンペーン

- 7月から8月に市内商業施設や公共施設などと連携し、市民が
アフリカの食や文化に触れるイベント・取組を延べ84件実施



アフリカン ステージ
(アフリカ月間2025)



アフリカ各国代表者等への記念品

3 今後の取組予定



横浜の国際的なプレゼンスの一層の向上や、市民や市内企業の皆さまへの裨益を目的に、TICAD9横浜開催を契機としたアフリカとの連携強化を進めます。具体的には、技術協力やグローバル人材育成、市内企業のアフリカでのビジネス促進等を通じた都市間連携を強化します。

また、TICAD9横浜開催を機に築いたアフリカ各国との関係を深め、GREEN×EXPO 2027のさらなるPRを進めます。

【参考】年度内に予定している取組

①次世代交流の推進

- タンザニアの高校生が来浜し、市立横浜商業高校や市立横浜サイエンスフロンティア高校と交流
- 市立南高校の生徒がガーナを、市立横浜商業高校の生徒がケニアを訪問し、現地の高校生等と交流
- 市立の小中高校、特別支援学校を対象とした「アフリカ交流プログラム」では、JICAや駐日アフリカ各国大使館と連携して、講座や交流事業を実施

②市内企業へのビジネス支援

- アフリカのビジネス事例などへの関心の高まりを受け、ビジネスセミナーの開催を検討